

9区・10区・11区の まちづくり瓦版

その1

平成22年3月
発行
神栖市波崎総合支所
都市整備課
(4月より都市計画課分室)
TEL: 44-1966 (直通)

去る1月～2月にかけて、市では9・10・11区の皆さんにお集まりいただき、「まちづくり懇談会」を開催しました。真冬の寒い夜の開催にも関わらず、大勢の方にお集まりいただきました。どうもありがとうございました。

日頃、「道が狭くて不便だ」「こんなに古い住宅が建て込んでいてはいざという時に不安だ」など、地区にお住まいの皆さんが、それぞれに感じていることがあると思います。

今回の懇談会は、地区にお住まいの皆さんの生の声を出し合っていたきながら、この地区を住みよいまちにしていくための第一歩として開催したものです。市では今後、このような懇談会を開催しながら、9・10・11区（主に下記に示した区域）のまちづくりについて皆さんと一緒に計画をつくり、安全で住みよいまちづくりを進めていきたいと考えています。今後の開催については、随時このような瓦版などでお知らせしてまいります。ふるってご参加下さい。

懇談会参加者数

1月31日(日)	2月5日(金)	2月23日(火)
17名 (9区)	12名 (11区)	23名 (10区)

アンケートを実施しました!

3月上旬より、9・10・11区にお住まいの方に別途用紙をお配りし、アンケート調査をお願いしました。ご協力ありがとうございました。

結果については、追ってお知らせするとともに、今後のまちづくり計画に反映させていただきます。ご理解とご協力をお願いいたします。





たくさんのお意見が出ました！

懇談会での主なご意見をご紹介します

1. 懇談会について

- 懇談会はどのように進めていくのか。
→まずは地区のよいところ、直したいところなどについて出し合っていたいただき、今後の整備の課題を皆さんと見つけたい。(市職員)
- このような話は、できるだけ大勢に聞かせたい。
→話し合いの内容については市でまとめ、欠席の方にもお知らせする。また別途アンケートも行う。(市職員)
- 市は、すでに計画案を持っているのではないかと。
→計画はまったくの白紙である。皆さんと考えたい。話し合いの時間はじっくりとりたい。(市)

2. 地区の課題について

- この地区では皆、防災や利便性の面では困っている。話はまとまりやすいだろう。
- どうせやるなら消防車が入れる地区にしたい。
- この地区は公園がない。お年寄りにとっては公園は地区のまん中にある方が使いやすい。
→大きな公園だけでなく、道路拡幅でできた残地などに小規模な広場をつくる方法もある。今後話し合っていたきたい。(市)

3. 事業に伴う移転などについて

- 事業で移転が必要になる場合、なるべく地区内に残れるようにしないと人口が減ってしまう。東小学校では新1年生も14人しかいない。移転のことを前もって考えてもらいたい。
→移転が必要な場合は、なるべく近いところに移転先をあっせんできるように考えたい。(市)
- 道路拡幅で半端な敷地になってしまった場合はどうするのか。
→半端になって再建築できない場合は敷地も補償の対象になる。(市)

4. 今後の進め方について

- 今後の懇談会の開催頻度はどのくらいか。
→今回は地区の状況について皆さんに意見を出していただいた。次回は4月以降になるが、具体的な計画づくりについて話し合っていたく予定である。(市)
- 今後の会議に市は出席してもらえるのか。
→出席する。3つの行政区で足並みをそろえながら進め、認識を共有していきたい。今回はなるべく多くの方に発言いただくために区ごとでの懇談会としたが、今後は3区合同の開催も考えられる。(市)
- 成功させるためにはどのようにしたらよいか聞きたい。
→話し合いを通じて、事業の必要性を皆さんが感じていただくことが大事だ。そして地区の問題点を見つけ、それを解決するためにはどうしたらよいかということをご皆さんで考えていただきたい。必要なことから手を付けることができると考えている。(市)

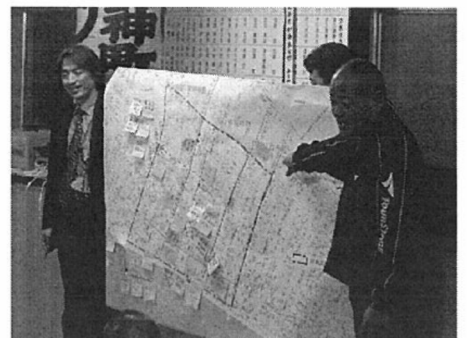
懇談会のようす



まずは市より懇談会の趣旨、これまでの経緯、市が行ったまちの調査の結果について報告しました。(写真は11区)



懇談はテーブルごとに白地図を囲み、地区のよいところ・問題点などを出し合いました。(写真上が9区、下は11区)



そして、懇談の結果をテーブルごとに発表しました。(写真は10区)